

## Accell/SQL for DataServer Release 9 (Unix) インストールガイド

### インストールの前に

- ・ 本リリースをインストールし動作させるには、商品のダウンロード及びライセンスキーが必要ですので、インストールを行う前にサポートセンタよりライセンスキーを取得してください。  
インストールの際ソフトウェアのライセンス付与で、以下の情報の入力が必要となります。  
シリアル番号：  
ホスト名：  
ライセンスキー：
- ・ 本リリースをインストールするには、添付のリリースノートに記載されたディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。

### Accell/SQL ,Unify DataServer のインストール

CD-ROM からインストールを実行する手順と、ハードディスクにリリースファイルを読み込んでからインストールを実行する手順は異なりますので、各インストール手順を参照して、作業を行ってください。なお、作業はスーパーユーザで実行します。

ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは弊社サポートセンタまでご連絡下さい。

### **CD-ROM からインストールを実行する手順**

以下は、CD-ROM から直接インストールを行う場合の実行手順です。

#### Step 1

CD メディアを挿入した CD-ROM をマウントして下さい。その後、CD-ROM のリリースのルートディレクトリに移動します。

[例]

```
# cd /cdrom/cdrom0
# ls (Accell/SQL DataServer の場合)
  apps   conv   include  j2sdk   lib     rr_moved  util
  bin    diag   install  jboss   reports tutorial
# ls (DataServer の場合)
  bin    conv   diag     include  install  lib
```

#### Step 2

/usr/unify ディレクトリを作成し、パーミッション 777 を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
# mkdir -m 777 /usr/unify
```

### Step 3

インストール・ユーティリティを実行します。

```
# install/install
```

### Step 4

以下のメッセージが表示されます。yを入力してください。

```
The directory /cdrom/xxxxxxx is not writeable.
```

```
Do you want to copy the release to a different location <y/n> y
```

### Step 5

リリースをインストールするディレクトリ名 (例 **/home/asql** ) を入力します。

```
Enter the destination (target) directory.
```

```
If the directory does not exist, it will be created for you.
```

```
Target directory:
```

```
/home/asql
```

### Step 6

指定したディレクトリが存在しない場合は新規に作成されますので、yを入力してください。

```
The target directory /home/asql does not exist.
```

```
Do you want to create it <y/n>? y
```

指定したディレクトリが既に存在する場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルが削除され、インストールが続行されます。削除しても問題が無い場合は、yを入力してください。削除すると問題がある場合は、nを入力しインストールを中断します。必要なファイルをセーブした後で再度インストールを初めから実行してください。

```
The target directory /home/asql already exists.
```

```
WARNING: All files will be removed from /home/asql !
```

```
Do you want to continue the installation <y/n>?
```

### Step 7

CD-ROM より、リリースファイルがハードディスクにコピーされます。

```
Source Directory: /cdrom/xxxxxxx
```

```
Target Directory: /home/asql
```

```
Install is now copying XXX files from the unwriteable directory.
```

```
This may take a while. A dot will be printed for each file copied
```

install ユーティリティは、インストールディレクトリに `installmsgs` という名前のファイルを作成します。`installmsgs` ファイルは、インストール中の進捗や状況に関するメッセージを記録します。インストール

完了後、このファイルでインストールの結果を確認することができます。

Step 8

以下のメッセージが表示されます：

## INSTALLATION

Unify Corporation Products

Release 9.0

---

(c) 1986 - 2006, Unify Corporation.

All rights reserved.

This installation script prepares all Unify products for usage.

After this installation, you can remove unlicensed products from the installed release.

See the Installation Guide for information about the product removal scripts.

Install the following product(S):

Accell/SQL, Unify DS 9.0

Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:

Step 9

Return キー を入力してインストールを開始すると、インストールの手順に関するメッセージが表示されます。

Conventions used and general information:

- 1) User input is obtained by both menus and prompts. Prompted input always offers a default input value (in square brackets []); Menus always offer an exit. All input must be followed by a carriage return.
- 2) In general, if a task cannot be completed, you will be given the option of either continuing or terminating installation.
- 3) This utility is interruptible.
- 4) This utility can be rerun at any time.

Press <return> to continue installation, or 'x' to exit [<return>]:

Step 10

Return キー を入力してインストールを継続し、リリースを読み込んで下さい。

Step 11

その後、プロダクトライセンスオプションを選択するプロンプトが表示されます。

```
Beginning installation on 2006 年 8 月 16 日 水曜日 14:48:45 JST.
```

```
Beginning release files check for Accell/SQL, Unify DS 9.0:
```

```
Release files check successful.
```

Product Licensing

Select one of the following licensing options:

- 1) Enter license information now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Push OS shell.
- 4) Terminate installation.

Selection:

ライセンスファイルを作成するために /usr/unify ディレクトリへの書き込み権限が必要です。

Step 12

オプション 1 を選択した場合は、プロンプトからライセンス情報を入力して下さい。

その後表示されるライセンス入力情報に間違いが無ければ 'y' を入力します。

```
Enter your license information by choosing option 1 and answering the prompts:
```

```
Selection: 1
```

```
Enter your serial number ('s' to skip license):xxxxxx
```

```
Enter your license key ('s' to skip license): xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx
```

```
License key entered:
```

```
Serial      : xxxxxx
```

```
License Key : xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx
```

```
Do you want to use these license values? ([y]/n) y
```

ライセンスキー情報の確認後、ライセンスキー値は \$UNIFY/license.key ファイルに書き込まれ、また /usr/unify にもライセンス関連のファイルが作成されます。

### Step 13

製品のライセンスに成功したら、以下のメッセージが表示されますので、Return キー を入力してインストールを継続して下さい。

```
Product licensing procedure successful.
```

```
Press <RETURN> to continue...
```

### Step 14

続いて以下のプロンプトが表示されますので、日本語のキャラクタセットを選択する場合は、1 (EUC) もしくは 2 (SJIS) を選択して下さい。Return キーのみを入力した場合は、英語のキャラクタセットが選択されます。

```
Please specify the default character code set.  If either of the Japanese code sets are required,  
enter 1 for EUC or 2 for SJIS. Otherwise, enter 0 ([0:others]/1: EUC/2: SJIS)
```

```
[0:Others, 1:EUC, 2: SJIS]:
```

### Step 15

続いて以下のプロンプトが表示されますので、データベースが使用するデフォルトの共有メモリーを入力して下さい。

```
Beginning master configuration file 'unify.cf' customization...
```

```
Enter a default shared memory key ([6904])
```

[ ]内に示されたデフォルトの値を Return キーのみを入力して使用するか、別のユニークな値を入力して下さい。install ユーティリティは、\$UNIFY/unify.cf ファイル中の SHMKEY として、この共有メモリーをインストールします。 入力する数値は、10 進数表記の 1234 か、16 進数表記の 0x1234 のように入力します。

### Step 16

インストールプログラムは、続いてマスターチュートリアルデータベースの構築を実行し、acell スタートアップスクリプトを作成します。ステータスメッセージがいくつか表示されます。

### Step 17

以下のメッセージが表示されます。オプションを使用しない場合は n を入力してください。

```
Product Option installation
```

```
Do you want to run the utility 'opts.install' at this time? (y/[n])
```

ACCELL/SQL のオプション機能をインストールすることもできます。このオプション機能は、PAM セキュリティ情報、Motif のデフォルトのリソースファイルや Unify DataServer のファイルタイプ情報を

含まれます。オプションのインストールを実行するユーティリティの名称は `opts.install` です。プロンプトに対して'y'を入力し、オプションの ACCELL/SQL の機能をインストールします。

`opts.install` ユーティリティのインストールに関しては、マニュアル ACCELL/SQL: Setting Up a User Environment の Appendix "The `opts.install` Utility" を参照して下さい。

リリースのインストールが完了後、`opts.install` ユーティリティを実行してオプションの ACCELL/SQL の機能をインストールすることもできます。

Product Options Installation

Do you want to run the utility 'opts.install' at this time? (y/[n])

'n'を入力すると、`opts.install` ユーティリティの機能無しでインストールが継続されます。

Not running 'opts.install'. Installation continuing...

Step 18

リリースが ACCELL/Web をサポートし、Web オプションがライセンスされている場合は、JBoss Java application server のインストールに続くメッセージが表示されます。

The Unify ACCELL/SQL product you're installing includes ACCELL/Web. This feature makes it easy to convert your existing or new ACCELL/SQL applications for use on the Web.

To make use of these new features ACCELL/SQL installation will install JBoss Java application server.

The JBoss application server installation includes an ACCELL/Web-converted version of the ACCELL/SQL tutorial application that you will be able to run.

You must specify the full path to the directory where the converted web applications will exist. If this directory does not exist, it will be created for you.

Enter the deploy directory ([/opt/jbossDeploy])

JBoss をインストールするディレクトリ名を指定するプロンプトで、インストールするディレクトリ（例 `/opt/jbossDeploy`）を入力して下さい。JBoss がそのディレクトリにインストールされ、ステータスメッセージがいくつか表示されます。

Successfully created the web applications deploy directory: `/opt/jbossDeploy`

Please wait...

JBoss application server Configuration

The JBoss application server runs each of its services on a unique port.

There are 10 services in the JBoss application server that needs to be configured for the JBoss application server. The installation program can automatically configure these services.

Alternatively you can view the default port to be used for each service and change it during installation by entering 'n' to the prompt below.

You can also change the port numbers after the installation by editing the ACCELL/SQL install directory/jboss/bin/server /server-bindings.xml file.

#### Step 19

続いて JBoss のポート番号を自動的に構成するプロンプトが表示されます。プロンプトに対して'y'を入力すると、デフォルトのポート番号で自動的にインストールされます。

```
Do you want the installation to configure the ports automatically? (n/[y])
```

ステータスメッセージとインストールの情報がいくつか表示されます。

```
Creating the ACCELL/WEB sample applications
```

```
/home/asql/bin/APP2JSP: Product is not licensed.
```

```
Successfully created the ACCELL/WEB sample applications
```

```
Copying the RPTServlet files
```

```
Successfully created the RPT/WEB application
```

```
Successfully configured JBoss application server
```

```
Starting the ACCELL/Web Application Daemon
```

```
To run the ACCELL/Web tutorial application, you must
```

```
start the JBoss application server by running
```

```
/home/asql/jboss/bin/run.sh. Once the server is running
```

```
go to the following URL:
```

```
http://ujlinux:8080/tutorial
```

```
To see example reports with RPT/Web, start the RDMN by running:
```

```
/home/asql/bin/RDMN
```

Then go to the following URL:

<http://ujlinux:8080/reports/>

#### Step 20

以下のプロンプトが表示されますので、Return キーを入力します。

Press <RETURN> to continue...

#### Step 21

install ユーティリティが終了すると、ユーティリティは完了メッセージを表示します。

```
Accell/SQL, Unify DS 9.0
```

```
installation completed on 2006 年 8 月 30 日 水曜日 16:53:06 JST.
```

If any errors occurred, examine the file '/home/asql/installmsgs'.

インストールディレクトリ/ installmsgs にインストールの一連の状況が出力されますので、インストール中にエラーが発生した際は、このファイルを参照して下さい。

インストール作業は以上です。

### ハードディスクにリリースファイルを読み込んでからインストールを実行する手順

以下は、zip ファイルからハードディスクにリリースファイルを読み込んでから、インストールを行う場合の実行手順です。

#### Step 1

zip ファイルを、A/SQL をインストールするマシンの任意のディレクトリに展開して下さい。展開したディレクトリがリリースのインストールディレクトリになりますので、展開したディレクトリのルートディレクトリに移動します。

[例]

```
# cd /home/asql
```

```
# ls (Accell/SQL DataServer の場合)
```

```
apps    conv    include  j2sdk   lib      rr_moved  util
bin     diag    install  jboss   reports  tutorial
```

```
# ls (DataServer の場合)
```

```
bin     conv    diag     include  install  lib
```

#### Step 2

/usr/unify ディレクトリを作成し、パーミッション 777 を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
# mkdir -m 777 /usr/unify
```



Step 3

インストール・ユーティリティを実行します。

```
# install/install
```

Step 4

以下のメッセージが表示されます：

INSTALLATION

Unify Corporation Products

Release 9.0

---

(c) 1986 - 2006, Unify Corporation.

All rights reserved.

This installation script prepares all Unify products for usage.

After this installation, you can remove unlicensed products from the installed release.

See the Installation Guide for information about the product removal scripts.

Install the following product(S):

Accell/SQL, Unify DS 9.0

Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:

Step 5

Return キー を入力してインストールを開始すると、インストールに関する以下のメッセージが表示されます。

Conventions used and general information:

- 1) User input is obtained by both menus and prompts. Prompted input always offers a default input value (in square brackets []); Menus always offer an exit. All input must be followed by a carriage return.
- 2) In general, if a task cannot be completed, you will be given the option of either continuing or terminating installation.
- 3) This utility is interruptible.
- 4) This utility can be rerun at any time.

Press <return> to continue installation, or 'x' to exit [<return>]:

#### Step 6

Return キーを入力してインストールを継続し、リリースを読み込んで下さい。

#### Step 7

その後、プロダクトライセンスオプションを選択するプロンプトが表示されます。

Beginning installation on 2006 年 9 月 1 日 金曜日 13:42:27 JST.

Beginning release files check for Accell/SQL, Unify DS 9.0:

Release files check successful.

#### Product Licensing

Select one of the following licensing options:

- 1) Enter license information now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Push OS shell.
- 4) Terminate installation.

以降の手順は、**CD-ROM からインストールを実行する手順** Step 11 以降と同様になりますので、**CD-ROM からインストールを実行する手順** Step 11 をご参照下さい。

#### ライセンス状況の確認

prlcnf ユーティリティを使って、リリースのライセンス状況を確認して下さい

```
# $ACLDIR/diag/prlcnf
Unify ACCELL/SQL license info:
Serial Number: xxxxxx
Current Host Name: hostname
Expiration date: 12/31/2020
License Key Version: 9
Installation start date: 8/17/2006
Installation end date: 9/16/2006
Trial License: FALSE
Site License: FALSE
Development Enabled: TRUE
Number of licenses: 8
```

Runtime License Info (8 licenses):

0 total licenses in use, 8 unused licenses available.

ACCELL/Web Enabled: TRUE

Number of ACCELL/Web licenses: 8

ACCELL/Web Runtime License Info (8 licenses):

0 total licenses in use, 8 unused licenses available.

ACCELL/Web Development Enabled: FALSE

DBIntegrator Product Enabled: TRUE

DBIntegrator Driver Enabled: TRUE

DBIntegrator Server Enabled: TRUE

Number of DBIntegrator licenses: 8

DBIntegrator Runtime License Info (8 licenses):

0 total licenses in use, 8 unused licenses available.

## instlic ユーティリティ

インストール後にライセンス許可を行う方法は以下の通りです。

### Step 1

コンフィギュレーション変数 UNIFY に ACCELL/SQL の lib ディレクトリのフルパス名が指定されているか、確認して下さい。

例: \$ACCLDIR/lib

### Step 2

/usr/unify ディレクトリに書き込み権限があるか、確認して下さい。

### Step 3

\$PATH コンフィギュレーション変数に \$ACCLDIR/bin ディレクトリのフルパス名が含まれているか、確認して下さい。

例:\$ACCLDIR/bin:\$PATH

### Step 4

instlic を開始します。instlic ユーティリティは以下の構文です:

instlic -f filename

-s serial -k key

-f filename filename で指定されたファイルから、ライセンス情報を検索することを指示します。

-s serial 指定されたシリアル番号を使用することを指示します。

-k key 指定されたライセンスキーを使用することを指示します。

-f オプション、もしくは -s/-k オプションの組み合わせのどちらかを使用してライセンスキー情報を指定する必要があります。

#### Step 5

prlcinf コーティリティを使用して、リリースのライセンス状況をチェックして下さい。

diag/prlcinf

### **UPDATE-KIT のインストール**

本リリースのインストール完了後、インストール先のディレクトリの下に "UPDATE" という名前のディレクトリが存在する場合は本リリースにはアップデートキットが付いています。

本リリースをご使用前に必ずアップデートキットをインストールして下さい。

アップデートキットのインストール方法につきましては該当するアップデートキット用のリリースノート、または、 "UPDATE"ディレクトリの下に"README.xxxx"(xxxx はバグフィックス番号)をご参照下さい。

以上